

設 立 趣 旨 書

現在、到来した高齢社会への対応として、厚生労働省および地方自治体は、高齢者が住み慣れた地域で最期まで暮らす「地域包括ケアシステム」を推進しております。

「すずの会」は、平成7年（1995年）の設立以来24年間、地域住民の生活課題を実践の中から感じ取り、地域に必要とされる活動を、ボランティアグループとして、地道に積み重ねてまいりました。

「すずの会」はまさに、「住民主体の地域包括ケア」を実践してきたと自負しております。

「すずの会」の名称は、困った時に気軽に“鈴”を鳴らして下さいという思いを込めて、名付けました。活動の目標は、高齢者、障害者とその家族を共に支え合い、触れ合いながら、誰にでも優しい、まちづくりネットワークを目指し、地域のニーズに合った活動の実践を目的としています。

このような「すずの会」の地域福祉活動の継続と拡充は、一段と期待されるころですが、一方で、ボランティア自身の高齢化がその阻害要因として意識されてきております。また財政基盤の確立・強化が必要です。

「すずの会」の存在を確実に継続していくためには、特に次世代への継承には、「すずの会」をより明確な組織にすることが必要との認識にいたりました。

「すずの会」を、特定非営利活動（NPO）法人とし、社会的信頼を高め、超高齢社会への対応に向けて、地域福祉活動を継続し充実していきたいと考えます。

2018年 11月 13日

法人の名称 NPO法人 すずの会

設立代表者 鈴木 恵子